

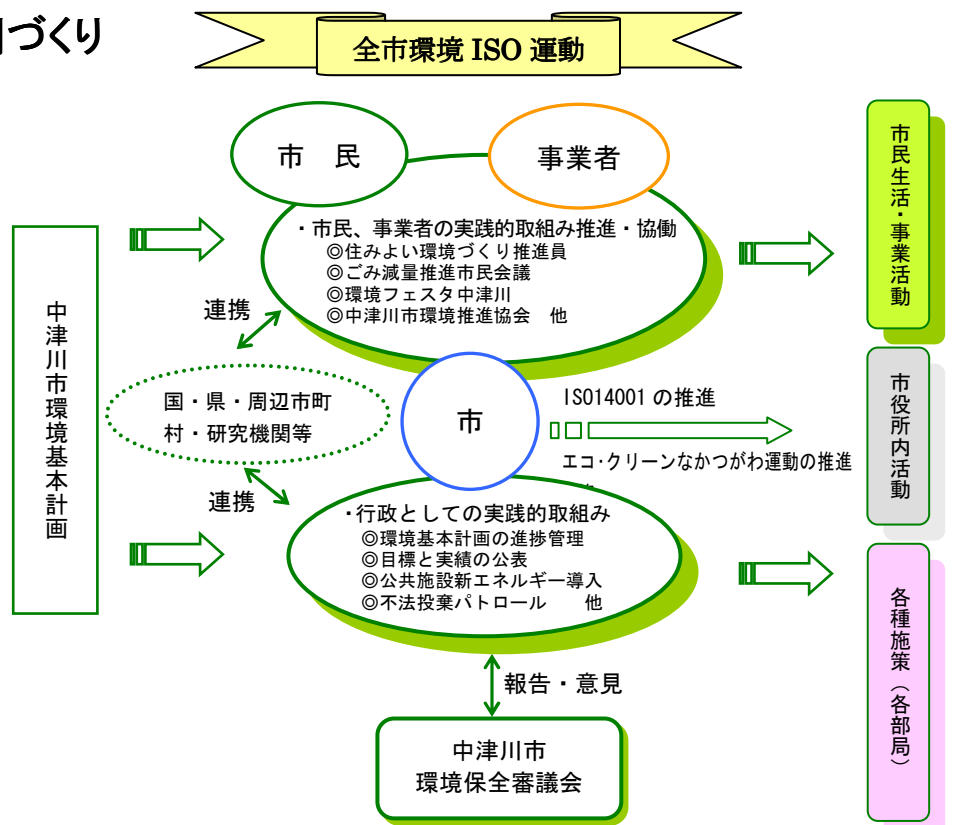
第2章 計画はどのように進め、管理していくのか

本計画を効率的かつ確実に推進していくためには、市民、事業者、市が連携、協働して取り組んでいく必要があります。また同時に、その取り組み状況を把握し、施策の実効性や目標の妥当性などを絶えず点検し、計画を継続的に推進（進捗）管理することも重要になってきます。

なお、計画の推進にあたっては国、県、他市町村との連携のもと積極的に行うとともに、農業協同組合や森林組合、漁業協同組合といった関係機関とも協調していきます。

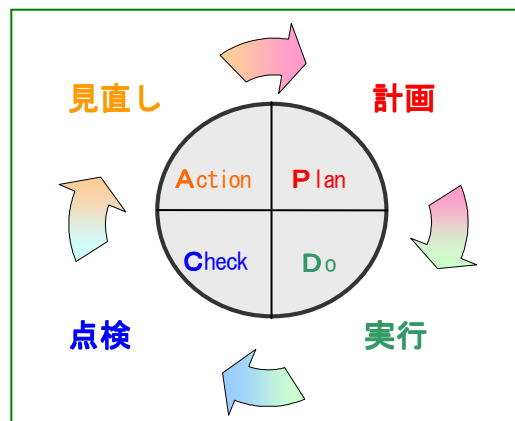
1. 計画の推進体制づくり

市では、右のような推進体制により、市民・事業者・市が協力しあい、良好な環境づくりを進めていきます。この、各主体が連携し、環境について学び、考え、行動していく運動を「**全市環境ISO運動**」として位置づけ、推進していきます。



2. 推進（進捗）管理の方法

進捗管理は、環境マネジメントシステムの考えに基づき、PDCA「計画（Plan）、実行（Do）、点検（Check）、見直し（Action）」を繰り返すことによって行います。



3. 目標となる環境指標と数値について

環境基本計画では、下記の表の通り目標となる環境指標を特定し、数値目標を設定して進捗管理していきます。事業計画と実施状況については、「中津川市の環境」として公表します。

なお、環境指標や目標数値は毎年見直し、実情に合った数値に修正します。

| 環境指標 | 現状等 (平成 18 年度) | 数値目標等 (平成 27 年度) |
|---|------------------------|------------------------|
| ○水質汚濁負荷の削減 | | |
| ・ 公共下水道の整備面積 (全体計画面積 1,210ha) | 661.95ha | 942ha |
| ・ 特定環境保全公共下水道 (落合・苗木) の整備面積 (全体計画面積 203ha) | 166.37ha | 203ha |
| ・ 特定環境保全公共下水道 (山口・坂下・付知・福岡・ 蛭川) の整備面積 (全体計画面積 444ha) | 439.05ha | 444ha |
| ・ 農業集落排水 (下洗井・坂本北部) の水洗化戸数 | 668 戸 | 769 戸 |
| ・ 農業集落排水 (川上・加子母・福岡・蛭川) の水洗化戸数 | 1,481 戸 | 1,597 戸 |
| ・ 農業集落排水 (阿木: 計画中) の水洗化戸数 | 0 戸 | 376 戸 |
| ・ 合併処理浄化槽設置基数 | 3,147 基 | 3,700 基 |
| ○クリーンエネルギー設備設置世帯数 (太陽光発電システム) | 334 件 (累計) | 500 件 (累計) |
| ○自然エネルギー活用公共施設数 | 太陽光発電 7 件 (累計) | 10 件 (累計) |
| ○ごみの減量 (平成 17 年度比: 26,556 t/年) | 25,861t/年 (2.6%減) | 20%減量 |
| ○ごみの減量化・リサイクル化等に関する出前講座等開催数 | 2 件/年 | 20 件/年 |
| ○資源ごみ回収量 (カン・ビン・ペットボトル) | 1,326t/年 | 1,300t/年 |
| ○リサイクルボックス設置数 | 42 力所 (累計) | 60 力所 (累計) |
| ○生ごみ処理機の世帯普及率 (コンポスト含む) | 19.19% (累計) | 20.00% (累計) |
| ○集団資源回収量 (PTA 等) | 4,454t/年 | 4,700t/年 |
| ○森林整備施業面積 (主たる間伐も含む) | 799.12ha/年 | 維持 |
| ○体験会 (キャンプ等) 実施校数 | 25 校 | 19 校 |
| ○市民 1 人当たりの都市公園等面積 | 8.94 m ² /人 | 9.29 m ² /人 |
| ○都市公園数 | 27 力所 (累計) | 28 力所 (累計) |
| ○親水施設 | 8 力所 (累計) | 8 力所 (累計) |
| ○農用地面積 | 4,190ha | 4,000ha |
| ○学校農園数 (借地含む) | 26 校 | 20 校 |
| ○環境保全型農業に取り組む農家数 | 124 戸 | 120 戸 |
| ○小中学校の環境学習取組み校数 | 31 校 | 31 校 |
| ○環境センターの見学 | 17 校 | 19 校 |
| ○こどもエコクラブの普及 | 8 クラブ | 活動の推進 |